コード No. 10038

Anti-Human
Fatty Acid Synthase (FAS) (14G5) Mouse IgG MoAb

容量 ： 100 µg

はじめに ： 脂肪酸合成酵素 (Fatty Acid Synthase, FAS) は生物界に広く存在する酵素で、植物や細菌にも認められています。動物種では約 254 kDa サブユニットのホモダイマータンパク質として存在します。ヒトの脳、乳癌、肝癌から cDNA がクローニングされその遺伝子産物が明らかにされています。正常では、脳、肺、肝臓、脂肪組織にその mRNA が発現しており、またいくつかのがん組織でも FAS の過剰産生が報告されています。また、一部のがんではその発現量が予後と逆相関することが報告されています。

免疫抗原 ： Human FAS の部分合成ペプチド

起源 ： マウス×マウス ハイブリドーマ (培養上清)
(X63 – Ag 8.653 × BALB/c マウス脾臓細胞)

クローン名 ： 14G5 サブクラス ： IgG2b

精製方法 ： 抗原特異精製

包装形態 ： 1 % BSA, 0.05 % NaN_3 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 ： 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び安定性 ： 2～8°C 保存 5 年間安定
溶解後 -20°C 保存 2 年間安定

使用目的及び使用方法 ： 免疫組織染色 1～5 µg/mL にて使用可能
(ホルマリン固定、パラフィン包埋切片)
組織中のマクロファージに染まることがあります。
： ウエスタンブロッティング 5 µg/mL にて使用可能

特異性 ： FAS のみに反応。
ただし IHC の場合、マクロファージに陽性反応を示す場合があります。

株式会社 免疫生物研究所
E-mail: do-ibl@ibl-japan.co.jp
URL: http://www.ibl-japan.co.jp

011219/NK
090120/KK
110623/KK
150126/AE